

嘆きのテレーズ (1952)

THERESE RAQUIN

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 107分

初公開日 1954/04/20

公開情報 新外映

【解説】

ゾラの『テレーズ・ラカン』を現代に焼き直したC・スパークの脚本を、M・カルネが映画化。病弱な夫をよそに逞しい運転手と恋に落ち、夫の殺害を企てる女の冷酷さをシニョレが完璧に演じた。ヴァローネの愛人も適役。完全犯罪にするため仕掛けたトリックが、自分で自分の首を絞める結果となる。このラスト近くのサスペンスの、淡々とした畳みかけは迫力満点。フランス映画のエスプリ……という所か。

【クレジット】

監督	マルセル・カルネ	Marcel Carne
原作	エミール・ゾラ	Emile Zola
脚本	マルセル・カルネ シャルル・スパーク	Marcel Carne Charles Spaak
撮影	ロジェ・ユベール	Roger Hubert
音楽	モーリス・ティリエ	Maurice Thiriet
出演	シモーヌ・シニョレ ラフ・ヴァローネ ローラン・ルザッフル ジャック・デュビー シルヴィー	Simone Signoret Raf Vallone Roland Lesaffre Jacques Duby Sylvie